

# 令和4年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和3年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	国際機関との連携事業			事業番号	008-065
担当部署名	文化観光	局	博物館	部	学芸課

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(3) 類稀な堺の歴史文化資源を活かした戦略的な観光誘客の推進		
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①堺の歴史文化資源を活用した滞在、消費拡大促進				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	延べ宿泊者数		目標値	1,400,000人(2025年度)	
		寄与するKPI	有	現状値	1,031,854人(2018年)	目標値	1,400,000人(2025年度)		
2	関連計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.9		
		寄与するKPI	有	取組	茶の湯や地域の祭り、文化財などの歴史文化の保全・魅力発信				
3	事業開始年度	有・無	無	現状値	—		目標値	—	
		有・無	無	現状値	—		目標値	—	
4	事業開始年度	平成 23 年度		点検年度	令和 7 年度				
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	特になし							

#### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	出先機関							
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民及び本市への来訪者	対象数	1,111,000		単位	人		
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	アジア太平洋無形文化遺産研究センターとの連携事業を通じ、多文化共生へのまちづくりに資するとともに、歴史的につながるの深いアジアをはじめとする国々との文化交流を促進し、地域の活性化に繋げていく。							
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	アジア太平洋無形文化遺産研究センターや国立民族学博物館などの研究機関と連携し、無形文化遺産理解セミナー、企画展示、ワークショップ、シンポジウムなどを実施する。また、ユネスコ、日本の無形文化遺産に関する取組みや本市の事業を紹介するパネル、リーフレットの作成を行う。							
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	委託事務の受注者							
10	公民連携・協働事業								

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	人	実績		目標	目標	点検年度
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度	
				90	90	90	300	
	無形文化遺産理解セミナーの参加者数	実績値	73	85				
	達成率	81%	94%					
	当該指標を選定した理由	募集予定人数を目標値とした。令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症の対策で募集人員を大幅に削減。						
	目標値の設定根拠・算出方法	参加者実数						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	人	実績		目標		
				令和2年度	令和3年度	令和4年度		
				0	150	0		
	シンポジウムの参加者数 (令和元年度は東京シンポジウムの数値)	実績値	0	73				
	達成率	-	49%					
	当該指標を選定した理由	令和3年度は形を変えて小規模に堺市内の無形文化財をテーマにシンポジウムを開催した。令和4年度は予定がないが、単発的に続く事業である。						
	目標値の設定根拠・算出方法	参加者実数:東京シンポジウムは令和元年度をもって終了。令和3年度は堺市での小規模シンポジウム開						

## 令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	国際機関との連携事業	事業番号	008-065
-------	------------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	3,416	1,397	2,712	1,829	1,902
13 財源内訳	国支出金				0
	府支出金				0
	市債				0
	その他 ( )				0
	受益者負担金(使用料、手数料等)				0
一般財源	3,416	1,397	2,712	1,829	1,902
14 人件費 (b)	4,940	5,030	5,030	5,030	5,080
15 年間経費(c)=(a)+(b)	8,356	6,427	7,742	6,859	6,982

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源	
								R3 決算
16 事業費内訳	謝礼金	R3 決算	537	537	通信運搬費	R3 決算	83	83
		R4 予算	200	200		R4 予算	81	81
	費用弁償	R3 決算	5	5	筆耕翻訳料等	R3 決算	70	70
		R4 予算	104	104		R4 予算	78	78
	普通旅費	R3 決算	1	1	イベント企画運営業務	R3 決算	0	0
		R4 予算	79	79		R4 予算	700	700
	消耗品費	R3 決算	226	226	有料道路通行料他	R3 決算	0	0
		R4 予算	300	300		R4 予算	8	8
	印刷製本費等	R3 決算	292	292	その他使用料及び賃借料	R3 決算	615	615
		R4 予算	352	352		R4 予算	0	0

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
① 無形文化遺産理解セミナーの参加者数	人	90	85
② 上記①にかかる年間経費	千円	1,380	1,389
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	15,333	16,341
備考 (算出についての説明等)		経費 (人件費：正職0.1、非常勤0.1)	

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、シンポジウムはフェニーチェホールでの開催したにも関わらず定員の半数での開催、セミナーも参加者数を縮小して開催したため、費用対効果は減少した。また、この状況下では、積極的に周知・集客を図ることができない側面もあった。
----	--

#### KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	無形文化遺産を取り上げることによって、博物館の展示とは違った角度から堺の文化と歴史を紹介する一面もあり、百舌鳥・古市古墳群と並んで、博物館の来館者増や堺の魅力発信に繋がるものとする。また、今後は、堺の伝統産業等を視野に入れ無形遺産への興味付けを図ってきたい。
----	---